

2016年5月度 家計分析

提出者数 4月度と同じく145名の提出がありました。登録者は163名、提出率は88.9%です。前年比10名の減ですが、登録者そのものも前年度より17名減っています。これから暑い時期を迎えますが、みなさま体調には十分気を付けて、引き続きご提出を宜しくお願いいたします。

収入 給料は前年比で(夫)101.5%、(妻)101.8%と微増ですが、年金の方は(夫)134.2%、(妻)163.1%と大きく上昇しています。これは60代以上の現役世帯で新たに年金の一部を受け取ったり、一定の年齢に達したため満額を受け取る年金世帯が増えたものと思われます。企業年金や個人年金、退職金等を受け取った方がおられたので、その他収入が312.0%と伸びています。

非消費支出 前年比で税金計127.0%、社会保険計157.2%と増大しています。社会保険料は負担率が今後徐々に上がってゆくため、これから益々家計を圧迫するでしょう。春は固定資産税や自動車税など請求書の波がやってきます。各種税金や生命保険料・国民年金を一括前払いされた方がおられました。非消費支出はコストカットがとても難しいですが、生命保険や損害保険は見直しによる経費削減が可能です。適正な契約内容であるかどうか、定期的な確認をお願いいたします。

消費支出 食費は前年比104.1%とほぼ横ばい、水・光熱費は93.7%と節約傾向にあります。よりお得な電力小売り事業者に乗り換えをされた方がおられたのかもしれませんが。これから夏本番を迎えて水道代・電気代の増加が気になるところです。今月、最も増えているのは自動車関係費の199.0%です。車購入資金や自動車保険年払いでまとまった金額を計上された方がおられ、複数の年代でランクインしています。続く教養娯楽費139.9%も多く年代で増加傾向が見てとれます。GWに遠出や外出をされた方が多いのではないのでしょうか。交際費・交通費・通信費も前年比でそれぞれ122.5%、116.3%、114.4%と伸びています。交際費を押し上げているのは50代から年金世帯です。通信費では携帯料金やネット接続料など各社プランやサービスを比較検討して固定を見直すことが大切です。教育費については5月になり全体に少し落ち着いた感がありますが、英語教材の購入等で20～30代で珍しく2位にランクインしています。

ランキング

	総 合	20～30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1	社保 74321	税金 103086	社保 103390	社保 120004	食費 70592	食費 68748
2	食費 71044	教育 97161	税金 87898	教育 107149	税金 46644	教娯 42909
3	税金 69277	社保 91150	食費 74231	自動車 106,093	教娯 42046	税金 40144
4	教育 50215	私保 66972	教育 70592	税金 83047	交際 33361	交際 35329
5	自動車 49,688	食費 61984	自動車 62,178	食費 72490	社保 32874	住居 29337
6	職主 33836	家地 54516	家地 50878	職主 50262	住居 27420	職主 24751
7	教娯 31878	職主 33084	職主 33651	家地 49870	職主 25108	社保 21671